



研究所だより

協同総研一同



謹んで初春のお慶びを申し上げます。
2019年もどうぞよろしくお願い致します。



20年前に発起された労協法の法制化も、省・法制局・われわれ運動側との間での実務者会議で地ならしされ、かつ、与党協同労働のワーキングチーム水準でその骨子が合意され、本年の通常総会に向けた動きが開始される段に到達しました。

骨子は、2010年以前の *conception ancienne et classique* (シンプルで古典的な構想) と根底的に相違し労働者の協同組合という事柄の本性に即するもので、成立に備え必要な準備に余念のない日々を送っています。

(島村 博)

2019年が後にどのような年として記憶されるのか想像してみる。まず、平成最後の年であり、〇〇最初の年であるということ、これは間違いない。次に、と考えると、どうも悪いことばかり思い浮かぶ。世界的な対立の激化、日本国憲法改正、そして戦争の危機、首都圏が大災害に見舞われるということはないか。「善きことは、かたつむりの速さで進む」というのはガンジーの言葉だが、逆に考えると悪いことは凄スピードでやってくるということ。危機を察知する感覚を鈍らせてはいけなだろう。そして、私たちの「地域から社会を変える」取り組みをゆっくりと着実に前進させていきたい。

(利根川 徳)

「超」の2018年、「出」の2019年を展望して

2018年の世相を表わす漢字は「災」であった。2018年の私の漢字は「超」である。「研究所を超える」「国を超える」「大学間を超える」「大学を超える」「時代を超える」「自らを超える」などであった。2018年5月に初めて日本労協連を会場にして、日本協同組合学会春季大会が開催され、それを契機にして協同組合関係研究所のネットワークのプラットフォームづくりを行なった。またスペイン訪問では、連帯経済の社会化と労働者協同組合設立の環境設定を深めることができた。そして協同総研のネットワークを活かし、ワーカーズコープ寄附講座の開催大学の広がりを見せた。「時代」「自分」を超えるは、30年ぶりに小学4年生のときに埋めたタイムカプセルを掘り起し小学生時代の仲間と再会したことや、ハーフマラソンに2度完走したことなどがあった。ランニングを通じて、持続可能な社会づくりのためには持続可能な体づくりを目指す元年となった。

今年は法制化元年を迎える。アウトプット＝「出」を多くし、労働者協同組合の社会化戦略を本格的に実行したい。

(相良 孝雄)

大切にしている言葉がある。「Work is Love Made Visible」はレバノン出身の画家、カレル・ジブランの詩の一節である。水道民営化、種子法廃止、農薬規制緩和、遺伝子組み換え食品表示消滅、汚染度再利用、生乳流通自由化、農地法改正、森林営営管理法、農協法改正、高度プロフェッショナル制度、労働監督部門民営化、IR法、公設民営学校解禁、介護の投資商品化…、日本の未来が、資本主義の食べ物にされるような、気持ちが重たくなることばかりの中で、人や地域や次世代を想うワーカーズコープの実践に未来を感じるのは、働く人びとの愛を感じることができるからだろう。土台を整えることを丁寧に行っていきたい。

(荒井 絵理菜)

昨年の、大阪北部地震、記録的集中豪雨、最高気温更新、台風21号、北海道胆振東部地震など様々な自然現象は地球の怒りを感じます。私たちはさらに辺野古、データ改ざんなど、政治の根幹に対する怒り心頭の年でした。

本年は新しい協同組合法(労働者協同組合法)成立を機に、心新たにあるべき地域と生活の探求と実践に邁進する所存です。

(岡安 喜三郎)

これまで東京北部事業本部の現場と協同総研を非常勤兼務してきましたが、不器用な性格なのででしょうか、どちらも中途半端に終わった昨年だったことは否めません。

今年には東京北部のフィールドにおいて、研究(所)政策提言にもつながることを意識しながら、地域市民とワーカーズローカルとが結節連帯し、これぞ根の這った本物「グローバル」だと、法制化の進展とともに確信を深めてまいりたいと考えております。

(上平 泰博)



研究所活動日誌 (2019.1.1~1.31)

1月

- 4日(金) 仕事はじめ
 7日(月) 和歌山大学ワーカーズコープ論講座出講(相良)
 8日(火) 労協連合同5役会議、京都府立大学上掛利博さんと懇談、大谷大学岡部茜さんと懇談、同志社大学中川吉晴さんと懇談
 9日(水) イタリア調査事前学習会、桃山学院大学ワーカーズコープ論講座出講(相良)
 10日(木) 立教大学「就労と福祉」(北島健一先生)で出講(荒井)、社会的企業研究会100回記念冊子編集委員会
 11日(金) 労協連グループ賀詞交歓会
 15日(火) 全国協同集会事務局会議、山梨県立大学就労支援論最終講義
 16日(水) 全国よい仕事研究交流集会2019事務局会議、福島大学ワーカーズコープ論出講(相良)

- 17-18日(木-金) センター事業団全国所長会議
 19日(土) 協同労働と中間的就労研究会報告会【大高研道先生科研】(明治大学)
 21日(月) 和歌山大学ワーカーズコープ論 出講(相良)
 23日(水) 福島大学寄附講座 出講(相良)
 25日(金) 労協連理事会
 26日(土) センター神奈川事業本部123集会、よい仕事集会 参加
 28日(月) 協同組合関係研究所交流会実行委員会、第11回ハンドブック準備会、本部全組合員会議
 29日(火) 日本協同組合学会常任理事会、センター事業団全組合員アンケート委員会
 30日(水) 全国協同集会 in Kanagawa実行委員会
 31日(木) 沖縄4大学寄附講座について大学関係者座談会、沖縄大学学長懇談(予定)

今後の活動予定 (2019.2.1~3.31)

2月

- 1日(金) 沖縄キリスト教学院大学 玉城直美先生と懇談
 2日(土) 第2回よい働き方研究会
 3日(日) GSEF2018ビルバオ大会・日本実行委員会」東京報告会 (相良報告)
 4日(月) 協同総研中間監査
 5日(火) 労協連合同5役会議
 6日(水) 協同総研事務局会議
 9-10日(土-日) JYC 愛知大会
 12-15日(火-金) 琉球大学ワーカーズコープ論寄附講座春季集中講義
 13日(水) 日本社会連帯機構 理事会
 14日(木) 全国よい仕事研究交流首魁2019 事務局会議
 18日(月) みんなのおうち会議
 21-22日(木-金) センター事業団本部長・事務局長会議

- 2月20日(水)-3月1日(金) 協同総研イタリア研究・調査訪問(田中夏子・利根川・荒井)
 21-22日(木-金) 労協センター事業団本部長・事務局長会議
 25日(月) 本部シンポジオン
 26日(火) 茨城県神栖市波崎第2中学校キャリア形成講義 出講(相良)
 28日(木) 日本協同組合学会 春季研究大会打ち合せ

3月

- 2-3日(土-日) 全国よい仕事研究交流集会2019(駒澤大学)
 5日(火) 労協連合同5役会議
 16日(土) 2018年度第4回協同総研理事会
 23日(土) 協同総研関西会員集会
 28日(木) センター事業団本部長・事務局長会議
 29日(金) 労協連理事会

2018年度 協同総研理事会予定

第4回3月16日、第5回理事会5月18日 第7回総会2019年6月29日(土)

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と問いたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格
1冊 1,000円
販売中!!

会員募集中!!

■年会費：個人会員／購読会員 12,000円

学生・障がい者 6,000円

団体会員 30,000円

■会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます

- ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
- ・各種研究会への参加費の会員価格適用
- ・書籍購入の際の会員価格適用